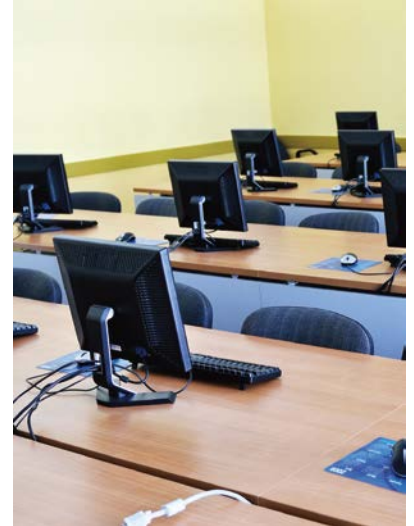


システム導入中における リアルタイム・アセスメントサービス

情報システムの導入は、多額のコストと人的資源を長期間にわたって投入し、企業の業務プロセスの中核に重要な影響を与えるとともに、財務報告に係る内部統制にも重大な影響を与えます。

しかし、新システム導入の際に、会計や内部統制を含む業務要件が適切に検討・実現されていなかったり、プロジェクトが中断して開発中のシステムが廃棄される等のシステム導入の失敗事例は、今日においても発生し続けています。

あずさ監査法人は、企業がシステム導入プロジェクトを成功に導くための適切なプロジェクト管理を実現し、新業務プロセスと新システムにおける効果的かつ効率的な内部統制を実現するために、システム導入プロジェクトの全フェーズにわたって、リアルタイムにプロジェクトや内部統制のアセスメントを実施するサービスを提供しています。



システム導入時の内部統制上の3つの課題

1 適切な会計処理や内部統制要件の検討

システム導入の現場では、適切な会計処理や内部統制の要件が見落とされたり、十分に検討されていないケースが散見されます。会計や内部統制の検討が不十分な場合、本番稼働後に会計処理や内部統制に関して「予期しない驚き」や「多額の追加コストを必要とする大幅なシステム変更」が必要となる可能性があります。

あずさ監査法人のサービスの特長

あずさ監査法人は、会計、内部統制、ITおよびERPの専門家が、監査の専門家の観点でアセスメントを実施することにより、本番稼働してから会計処理や内部統制上の「予期しない驚き」や「多額の追加コストを必要とする大幅な変更」が発生するリスクを低減させます。

2 効率的な内部統制の構築

従来のシステムや業務を前提にした内部統制を、新システムと新業務プロセスでもそのまま踏襲してしまうケースが散見されます。新システムや新業務プロセスを前提にして、ERPパッケージの特徴や機能を活用した効率的な内部統制が明示的に検討されない場合には、非効率なマニュアル統制で対応することになり、本番稼働後の内部統制の実施コストや評価コストが増大する可能性があります。

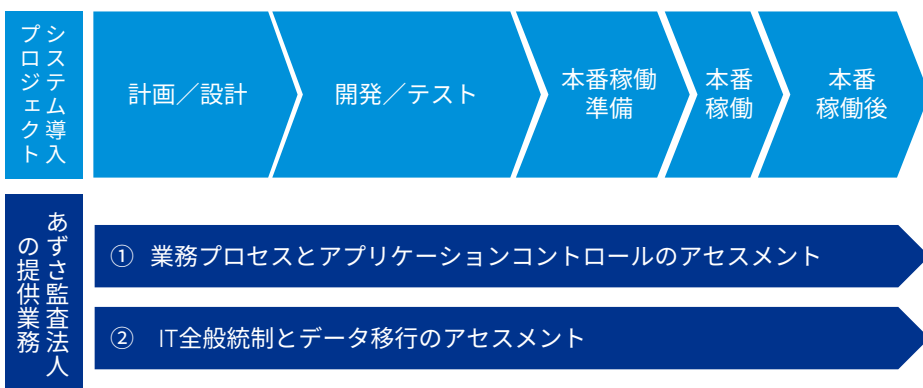
あずさ監査法人は、会計、内部統制、ITおよびERPの専門家が、ERPの特徴や機能を理解したうえでアセスメントを実施し、内部統制のデザインや実装に関する所見と助言を適時に提供することにより、ERPの機能を活用した、より効果的かつ効率的なコントロールを低コストで整備することを支援します。

3 プロジェクト管理

企業にとって、情報システムの導入は頻繁に行われるものではなく、不慣れなイベントです。しかし、システム導入プロジェクトを成功させるためには、プロジェクトを適切に管理することが重要であり、いかにプロジェクトを適切に管理するかが企業にとっての課題となります。プロジェクト管理をシステム導入ベンダー等に任せきりにすると、ベンダーに不都合な情報が報告されない可能性があります。

あずさ監査法人は、システム導入プロジェクトに精通した専門家が、プロジェクトから独立した立場からプロジェクトおよびプログラム開発コントロールのアセスメントを実施し、プロジェクトの期日や目標達成等に脅威を及ぼすおそれがあるリスクや、プロジェクト管理上の問題点や課題等について所見と助言を提供し、企業がプロジェクトを成功に導くための適切なプロジェクト管理の実現を支援します。

サービス対象領域と実施タイミング



あずさ監査法人は、システム導入プロジェクトの計画段階から本番稼働後に至るすべてのフェーズにわたって、システムの導入中からリアルタイム（適時）に内部統制のアセスメントを実施します。

1. 業務プロセスとアプリケーションコントロールのアセスメント例

設計・導入中の新業務プロセスに係る内部統制が、本番適用された際に十分にリスクを低減している内容になっているかどうか事前に以下のアセスメントを実施します。

- 要件定義の成果物のアセスメントを実施したり、要件定義のミーティングに参加して、新業務プロセスの要件定義において会計要件や内部統制要件が適切に考慮されているかどうかを確認し、所見と助言を提供
- 新業務に係る内部統制関連文書のアセスメントを実施し、アプリケーションコントロールおよびマニュアルコントロールのデザインについてあるべき姿とのギャップ分析を実施し、所見と助言を提供
- ユーザのアクセス権が職務分離を考慮して適切に設計され、設計通りに設定されているかどうかのアセスメントを実施し、所見と助言を提供
- 併行稼働環境でアプリケーションコントロールとマニュアルコントロールのアセスメントを実施し、所見と助言を提供等

2. IT全般統制とデータ移行のアセスメント例

プロジェクト管理を含むプログラム開発コントロール、開発環境と新システムの本番環境のIT全般統制、およびデータ移行に係る内部統制等が十分にリスクを低減している内容となっているかどうか事前に以下のアセスメントを実施します。

- プロジェクト管理を含むプログラム開発コントロール（開発プロセスと開発環境のIT全般統制の方針や、開発・変更管理手順およびIT全般統制に関連する開発環境の設定を含む）のアセスメントを実施し、所見と助言を提供
- 新システム環境のIT全般統制の方針やIT全般統制に関連する設定内容のアセスメントを実施し、所見と助言を提供
- データ移行の方針、手続、移行結果および移行前と移行後のデータ照合手続のアセスメントを実施し、所見と助言を提供
- 本番稼働計画やトレーニング計画のアセスメントを実施し、所見と助言を提供等

有限責任 あずさ監査法人
IT監査部

〒100-8172

東京都千代田区大手町1丁目9番7号

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

TEL : 03-3548-5315

FAX : 03-3548-5316

AZSA-ITAUDIT@jp.kpmg.com

www.kpmg.com/jp

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはあずさ監査法人までお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2017 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 17-1109

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.